

文部科学省所管 財団法人 日本アウトワード・バウンド協会主催

ウィルダネス・ファースト・レスポnder WILDERNESS FIRST RESPONDER (WFR) コース

日本で初開催する野外教育・冒険教育・自然体験活動指導者のための野外救急法のコースです。アメリカ・カナダといった北米はもとより、世界の野外指導者が最低条件として持つべき資格がこのウィルダネス・ファースト・レスポnderで、今では世界のスタンダードとなっています。今回、アメリカのWILDERNESS MEDICAL ASSOCIATES (WMA)

<http://www.wildmed.com/index.htm>よりインストラクターを派遣していただき、資格取得のコースを開催致します。

WILDERNESS MEDICAL ASSOCIATES とは1978年にアメリカのOBSに野外の医療トレーニングとリスクマネジメントを提供した団体で、それ以降、野外での指導者やリーダー、救助隊といった対象向けのコースを提供しています。主な受講者としては野外を職業としているプロフェッショナル・団体スタッフ、レスキューを職業とする人、ナショナルパークサービス、野外に関わる大学生、救急隊員、FBI、林業や山で働く労働者などです。

また、世界中のOBS各スクール、NOLSやYMCAといった北米の各野外団体、野外を学べる大学などが主催してコースが行われ、野外に関わる関係者の初めに取るべき最初の資格となっています。現在の状況ではアメリカやカナダなどに渡航をして、英語でコースを受け、資格を取らなければなりません。今回は日本語通訳を入れて行うコースとなっています。ぜひ、この機会に取得をして下さい。

開催日 2007年4月8日(日)～4月17日(火) 9泊10日 休養日1日含む

開催地 OBS長野校(長野県北安曇郡小谷村)

参加費 110,000円(税込み)

コース中の全ての指導費、資料代、食費、宿泊費、装備費、保険料を含みます。

対象 18歳以上の方。

定員 20名

内容 通常72時間8日間で行われているコースですが、今回は通訳が入るため1日多く時間をとっています。また長期の講習のため1日休養日を設けています。基本的には午前中は室内にて医療、傷病、神経や循環器、骨などの人体について、雷、高温時、低温時、虫さされ、噛まれなどの環境・動植物といった知識の講義中心で、午後は応急処置や搬送の練習、シュミレーションといった実践形式です。

資格 WFRコースを修了された方はWILDERNESS MEDICAL ASSOCIATESより、3年間有効のWFR修了証、アナフィラキシー修了証、BLS-CPR修了証が授与されます。また再講習(約3日間)で延長可能です。

お問合せ・お申込先 財団法人 日本アウトワード・バウンド協会 長野校

受付担当 濱谷 弘志・道端 聡子(どうば さとこ)

〒399-9601 長野県北安曇郡小谷村北小谷大綱

TEL 025-557-2211 FAX 025-557-2277

Email : info@obs-japan.org URL : <http://www.obs-japan.org>

Wilderness Medical Associates

Wilderness First Responder (72hours, 8days)

コーススケジュール例

	AM	PM
DAY 1 10.5h	受付・コース紹介 感染予防(CPRの導入) 心配蘇生法 BLS - CPR	CPR ケーススタディ
DAY 2 9.0h	解剖学、生理学 一般概論 傷病者アセスメントシステム	ALS/BLS (part1) ケーススタディ
DAY 3 9.0h	循環器官 呼吸器官 骨折 安定したけが	脱臼 そえ木1 四肢 ケーススタディ
DAY 4 10.0h	神経系統 傷 やけど 外傷に関する総論 脊椎損傷 緊急出産	リフト、搬出 そえ木2 脊椎 ケーススタディ
DAY 5 9.0h	クイズ 毒、噛まれ、刺され 高所または潜水 医療緊急事態	担架作製 担架での搬送 傷病者搬送 小グループシミュレーション ケーススタディ
DAY 6 9.0h	低体温症 ALS/BLS (part1) 熱中症と熱障害 おぼれ 凍傷と低温障害	捜索とレスキュー シミュレーション ケーススタディ
DAY 7 9.0h	雷 太陽 アレルギーとアナフィラキシー 野外での薬品	即興での担架づくり シミュレーション ケーススタディ
DAY 8 6.5h	医療と法律事項 個人的準備 ケーススタディ(最終) シミュレーション(最終)	最終テスト